



たんぽぽ通信

武蔵村山病院 病児・病後児保育室「たんぽぽ」



平成 30 年 3 月

はじめに

「たんぽぽ通信」は、病児・病後児保育室「たんぽぽ」より、市内の教育・保育施設へ向けて情報を発信していくお便りです。皆様のお役に立つ情報を提供していきます。



冬の代表格「インフルエンザ」

インフルエンザは、1～3 日程度の潜伏期間の後、38℃以上の高熱、倦怠感、筋肉の痛みや関節の痛みから始まり、咳や鼻水などの呼吸器症状を伴うウイルス性の感染症です。

平成 29 年は 9 月頃から報告例があったようですが、実際に武蔵村山病院の小児科でインフルエンザの診断が増えたのは 12 月に入ってからでした。早い時期から A 型も B 型も混在しており、学級閉鎖になった学校も多かったようです。B 型は呼吸器症状に加え、消化器症状（下痢・嘔吐）がみられるのが特徴です。高熱で食事や水分摂取量が減るなか、更に下痢や嘔吐を伴うことで脱水になりやすいので注意が必要になります。

病児・病後児保育室「たんぽぽ」でも、年末あたりからインフルエンザのお子さんが増え、特に 4～5 歳のお子さんを中心に連日のご利用がありました。乳幼児の場合、発症後 5 日かつ**解熱後 3 日**が登園の条件になります。予防接種を受けたから絶対にインフルエンザにかからない、というわけではありませんが、**重症化や合併症を防ぐためにもとても有効**ですので、毎シーズン接種されることをおすすめしています。もちろん手洗い、うがいなど、日々の予防も重要になります。

4 月は入学や進級の季節ですので、新年度にむけて体調を整えておきたいですね。



【平成 29 年度 たんぽぽ入室児の症状・感染症 まとめ】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
病名 (症状)	溶連菌		→											
	手足口病			→										
	アデノウイルス		→											
	インフルエンザ A・B										→			
	急性上気道炎	→												
	気管支炎		→											
	喘息様気管支炎		→											
	急性咽頭炎		→											
	水痘		→											
	感染性胃腸炎							→						

《平成 29 年度まとめ》

『今年度は 1 年を通じて熱、咳、鼻水が主症状の上気道炎のお子さんのご利用がありました。』

夏から秋冬にかけては水痘と手足口病が、年を明けた頃からはインフルエンザでのご利用が多かったです。インフルエンザが流行している時期は予約が重なってしまい、お断りすることもあり、大変ご不便をおかけしました』

《ご利用方法》 武蔵村山病院 または 武蔵村山市役所ホームページをご覧ください。

《お問い合わせ》 武蔵村山病院 3C(小児科)病棟 042-566-3367 (日～土 8:00～18:00)